



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

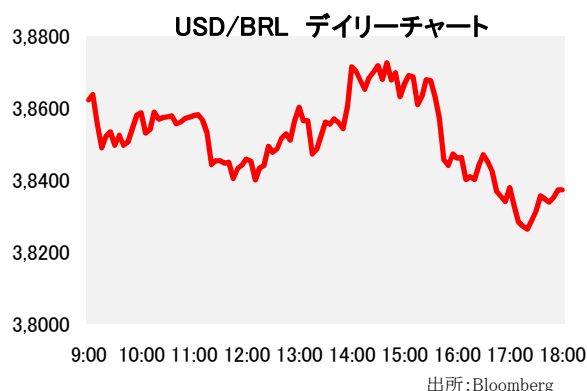
## 1. マーケット・レート

			11月26日	11月27日	11月30日	12月1日	12月2日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,7430	3,8460	3,8670	3,8530	3,8370	-0,0160
	BRL/JPY	Spot	32,74	31,94	31,83	31,85	32,12	+0,27
	EUR/USD	Spot	1,0608	1,0591	1,0573	1,0633	1,0617	-0,0016
	USD/JPY	Spot	122,58	122,86	123,11	122,82	123,20	+0,38
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14,862	14,959	15,054	15,015	14,937	-0,078
	Future	1Year(p.a.)	15,470	15,621	15,705	15,666	15,623	-0,043
	On-shore	6MTH(p.a.)	3,398	3,480	3,419	3,095	3,014	-0,081
	USD	1Year(p.a.)	4,164	4,416	4,340	4,047	3,974	-0,073
株式	Bovespa指数		47.146	45.873	45.120	45.047	44.915	-132
CDS	CDS Brazil 5y		420,79	425,33	444,82	446,22	447,81	+1,59
商品	CRB指数		休場		182,540	184,393	180,847	-3,55

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

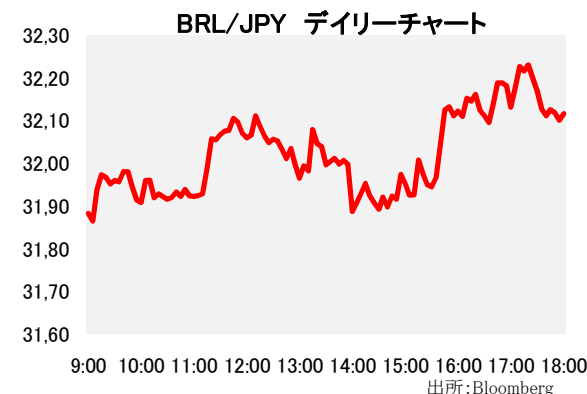
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
商品価格指数(前月比)	-5.00%	-5.37%	1.39%
商品価格指数(前年比)	26.90%	18.41%	28.93%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	-0.2%	-3.2%
(米)ADP雇用統計	190k	217k	196k
(米)非農業部門労働生産性	2.2%	2.2%	1.6%
(米)単位労働費用	1.0%	1.8%	1.4%
(米)ISMニューヨーク	58.0	60.7	65.8



## 3. 要人コメント

イエレンFRB議長	10月のFOMC会合以降に入手した経済と金融の情報は全般的にみて、労働市場の改善が続くというわれわれの見通しと整合している
-----------	---



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.8490で寄り付いた。
- 本日は国内では経済指標に乏しい展開となる中、本日に延期された基礎的財政収支黒字目標を赤字に変更する案の議会投票が注目され、レアルは寄り付き後3.8500を中心に小幅に推移した。
- しかし午後に入るとセプティ大統領が議会承認に必要な投票数を確保できない可能性があるとして市場で思惑が強まるとレアルは一時的に本日の安値となる3.8750まで下落するも直後に回復、本日の高値となる3.8230まで買い戻され、結局3.8370でクローズした。
- 尚、11月のユーロ圏消費者物価指数速報値が前年同月比0.1%の上昇に留まり、市場予想の0.2%上昇を下回ったことを受けてユーロは対ドルで下げ幅を拡大した。
- 11月の米民間部門の雇用者数は前月比で予想以上に増加したことに加え、イエレン議長は経済の成長見通しに自信を持っており、初回利上げを遅らせ過ぎると急激な引き締めに追い込まれるリスクがあると述べたことから12月のFOMCでの利上げの可能性が益々高まっている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。